

第8回コンクリート技術交流会 開催のご案内

主催：日本コンクリート技術株式会社

コンクリート技術交流会は、現業に役立つコンクリート技術の情報交換と技術者の交流の場として、平成16年より両国周辺にて開催してきました。平成23年からは、東日本大震災における被災地の復興・復旧の一助となることを目的に東北各地に場所を移し、名称を「コンクリート技術大会」として5回にわたり開催しました。

平成28年からは再び「コンクリート技術交流会」として両国で開催しており、通算8回目となる今回は11月2日（金）にKFCホールにて開催します。本技術交流会は、建設現場の最前線で活躍する技術者の方々に役立つ最新情報を提供することを趣意とし、パネルディスカッション、パネル展示ならびに特別講演を下記の要領で実施しますので奮ってご参加下さい。

1. 開催日時：平成30年11月2日（金） 10:00～18:00（9:30受付開始）

2. 開催場所：国際ファッションセンタービル 3階 KFCホール
（東京都墨田区横網一丁目6番1号 TEL 03-5610-5801）

3. プログラム：

10:00～10:05 開会の挨拶 長瀧重義（東京工業大学名誉教授）

10:05～12:00 パネルディスカッション：

タイトル『コンクリート工事の生産性向上に向けた施工性の改善提案』

[概要] 国土交通省は建設工事における生産性向上と魅力ある工事現場の実現を目指して i-Construction を推進しており、コンクリート構造物の施工における生産性向上はその中心的な課題のひとつとなっています。ここでは、コンクリート工事における施工性改善やプレキャストコンクリート製品の活用促進の観点から有識者をパネリストに迎えて活発な議論を行い、現場に有益となる情報を提供します。

コーディネーター：本間淳史（東日本高速道路）

パネリストおよび話題提供：

渡辺博志（土木研究所）	『コンクリートの生産性向上に対する国の取組』
橋詰幸信（大成建設）	『コンクリート工事におけるCIMの活用事例』
岡本大（鉄道総研）	『鉄道工事におけるPCa工法の活用事例』
中積健一（三井住友建設）	『PCa化による橋梁工事の生産性向上』
河野一徳（日本コンクリート技術）	『PCa埋設型枠を活用した合理化施工』

13:20～16:30 パネル展示（出展社によるプレゼンテーションと展示ブースにおける個別説明）

[内容] 出展各社が保有するコンクリートの現場施工に役立つ製品や技術に関して、参加者に最新情報の収集と情報交換を行う場を提供します。各出展社が持ち時間10分程度で対象技術のプレゼンテーションを行った後、会場内に設けた各社の展示ブースに分かれて個別に詳細説明や質疑応答を行う方法で実施します。

16:40～17:50 特別講演 講演者：春日昭夫（三井住友建設 執行役員副社長）

タイトル：『日本のプレストレストコンクリートが持続可能であるためには』

講演内容：日本にプレストレストコンクリート（PC）技術が導入されて60年以上になりますが、今後の日本のPC技術の持続可能性を考えたとき、何が課題となり、それらをどのように克服して展開していったらよいのかをテーマに論じます。

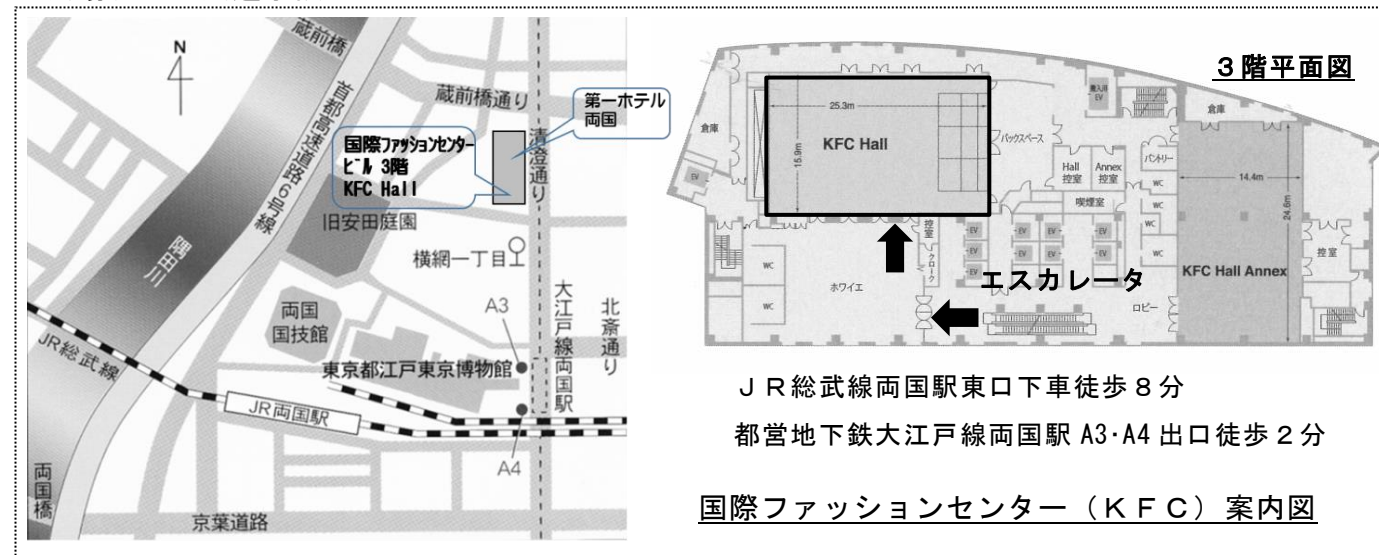
18:00～20:00 意見交換会 KFCホール「ホワイエ」にて

■パネル展示：出展社と出展内容

※出展内容は変更される場合があります。

No	出展社(50音順)	出展内容
1	愛知製鋼	ステンレス鉄筋コンクリートバー「サスコン」はコンクリート構造物の長寿命化、メンテナンス低減に貢献します。
2	アストン	コンクリートの躯体防水あるいは耐久性向上に貢献する「CS-21シリーズ」製品群
3	安藤・間	トンネル覆工コンクリートのひび割れを効率的に経済的に抑制し、また、安定した表層品質のコンクリートを提供いたします。
4	KSK	3次元データを使用した構造物の「記録」「出来形管理」「維持管理」「施工計画」
5	コンステック	正しい診断 たしかな施工を一步先へ
6	太平洋セメント	太平洋セメントは、これまでに培ってきた技術力と自由な発想で時代のニーズを先取りし、安全・安心な社会のミライを目指して、これからも挑戦を続けます。
7	デンカ	できるをつくる。挑戦し続ける「デンカの新技术」
8	ニチバン	コンクリート構造物のひび割れを補修する低圧注入工法について。補修材注入の際にひび割れ表面の目止めを行うシール材の代替となるシールテープ『せこたんTM』
9	フローリック	未来をカタチに変える創造力
10	前田工織	トンネルの覆工コンクリート；条件によって使い分ける剥落防止工法
11	前田製管	小規模橋梁をPCaボックスカルバートへ。橋梁長寿命化修繕等のインフラ老朽化対策に、弊社のPCaボックスカルバートで良質なインフラ整備を提供いたします。

■会場および交通手段



■参加費および申込み方法：

参加費用：事前申込 12,960円、当日受付 15,000円（消費税込み、資料集 CD-ROM の費用含む）

申込方法：当社HPから参加申込書をダウンロード印刷し、必要事項をご記入の上、EメールまたはFAXにて担当者までお送り下さい。お申込みは10月12日までお願い致します。10月下旬に資料を送付致します。

問合せ先：日本コンクリート技術(株) 東京都墨田区両国 4-28-1 TEL 03-5669-6651 FAX 03-3632-2970

[担当] 村田 E-mail: murata@jc-tech.co.jp ホームページ http://www.jc-tech.co.jp/

※その他、ご不明な点がございましたらお問い合わせ下さい。